

仁誠会通信

心ひとつ*

やさしく
やわらかく
あたたかく

14
第14号
2015.10

目次

- 2-3 安心・安全な透析医療を目指して
- 4 ノーリフトポリシー
- 5 自立支援への取り組み 第2弾
- 6 各施設「夏祭り」便り
- 7 「祝 敬老の日」
ボランティアさん紹介
- 8 新介護施設の開設のお知らせ
赤とんぼ秋祭りの開催予告



▲仁誠会クリニックながみね
臨床工学技士 池田侑生



▲仁誠会クリニックながみね
臨床検査技師 尾崎智子

仁誠会の
ホームページ
「チャレンジ!
夢に向かって」
に池田さん、尾崎さん
の声を掲載して
います。

患者さんの体にやさしい検査

仁誠会では、安心・安全な透析医療を目指し、様々な専門ライセンスを持つスタッフが連携して治療にあたっています。今回は仁誠会で行っている検査についてご紹介します。

透析患者さんには透析年数が長くなるにつれ様々な合併症や症状が起きます。それらを早期に発見し、早期治療に繋げ、重症化することなく早く回復することを目的に各種生理検査機器を導入しています。生理検査は痛みがなく「体にやさしい検査」と言われます。超音波(エコー)検査は体の外からエコーを当て、心臓・頸(首)動脈・下肢(足)血管などの状態を観察します。他にも血圧脈波検査(CABI・ABI)、骨密度測定器・骨密度レントゲン、体成成分検査(インボディ)などがあります。仁誠会の特徴として、測定にあたる検査技師が透析の専門知識を持っていることと、看護師・臨床工学技士等のダブル免許を取得している検査技師が多いことで、より専門的な視点で検査測定を行うことができます。測定時間は各々5分～20分程度ですが、患者さんに時間的負担をかけないよう透析中や透析前後で検査を行うなどの工夫もしています。検査結果はタイムリーに担当医に報告し、薬剤治療や専門医受診～治療へと繋いでいます。仁誠会で行っている生理検査についてご紹介します。



1 心臓エコー検査

心臓の大きさや動き、弁の状態、血液の流れなどをみる検査です。心筋梗塞などで動きが悪くなっていないか、心臓の血液の逆流や、弁の障害はないかなどを観察します。透析患者さんは体内に水分が溜まることで心臓に負担がかかるため、これについても調べることができます。透析後に行なうことでドライエイトが適切か?を判断することもできます。



2 頸動脈エコー検査

透析患者さんは、動脈硬化のほか異所性石灰化という血管への重篤な障害が起こります。頸部(首)動脈には、脳に血液を運ぶための太くて大事な血管がありますが、その血管に狭くなった場所がないか? 血管の壁が剥がれ易くなっていないかを調べて、脳梗塞を起こさないよう、早期に見つけ予防します。



3 体成成分検査(インボディ)

透析患者さんが心不全や肺炎を起こさないためにはドライエイト(余分な水分を除去した体重)を適正に保つ必要があります。インボディは、透析後に体内に余分な水分が残っていないかを調べて、ドライエイトを決める目安にします。また、四肢の筋肉のバランスや脂肪の分布状態(部位別の肥満度)を測定することができ、栄養状態の評価にも使います。

4 血圧脈波測定装置(CABI・ABI)

透析患者さんにとり下肢動脈閉塞症(ASO)は命に係わる大きな問題の一つです。動脈硬化が原因で下肢(足)だけでなく狭心症・心筋梗塞・脳梗塞を引き起こし下肢切断に至ることもあります。CABIは動脈硬化の度合い(血管の硬さ)を表わし、ABIは下肢動脈の詰まりの状態を表します。両腕と両足首に血圧計を付け、その血圧の比から足の動脈の詰まりを診断し、重症化する前に足の血管の流れを回復させる治療(PTA)に繋げます。

5 骨密度検査

透析患者さんは、腸からのカルシウム吸収が悪く骨からはカルシウムが抜けやすい状態にあります。多くの患者さんが骨がもろくなっていますが、女性の場合は更に更年期を過ぎる頃から骨がもろくなります。この骨の状態を見るのが骨密度測定器で、更に精密な骨密度レントゲンも導入しています。検査結果から、薬剤治療などに繋いでいきます。



安心・安全な透析医療を目指して

仁誠会では、「患者さんと十分なコミュニケーションをとるための時間の確保」「業務改善」の目的でIT化に取り組んでいます。

電子カルテをはじめとする、最先端医療機器、透析集中監視装置、レセプトコンピューターが連動し万全の体制を整えております。



1 透析液供給配管の洗浄

消毒及び殺菌効果も高く、環境にもやさしい熱水消毒を取り入れています。これにより、きれいな透析液を患者さんへ提供でき、合併症の予防に努めています。

透析液をきれいにろ過する膜の一部▶



2 透析液供給装置

全自动プライミング装置、全自动回収装置を導入し、手技の統一化を行い、安全な医療の提供に努めています。

透析に用いる透析用水を作る機械▶



3 シヤントPTA

*PTA(Percutaneous Transluminal Angioplasty):経皮的血管形成術

当法人では、仁誠会クリニック黒髪にPTAができる機器を設備しております。シヤントが何らかの原因で狭窄あるいは閉塞になったときでも、法人内の患者さんであれば迅速に対応することができます。私たち臨床工学技士も看護師と連携し、医師のサポートを行っています。



4 医療機器の安全管理

透析液供給装置、輸液ポンプ、シリニジポンプなどの日常点検、保守点検、定期点検は臨床工学技士の各自が責任をもち取り組んでいます。突然のトラブル時にも対応できるように定期的に専門研修を行い、知識・技術の向上を図っています。



安全・確実な穿刺技術の習得から ～穿刺トラブル「0」を目指して～

仁誠会では穿刺困難例や穿刺トラブル時に、超音波検査機器を使用したエコーガイド下穿刺を行っています。透析治療を行う上でシャント穿刺は必要不可欠です。しかし、患者さんにとって最も苦痛な瞬間でもあります。エコーガイド下穿刺は血管に対して穿刺針がどの位置にあるのか超音波画像で確認しながら針を進めるため、より安全・確実な穿刺を行うことができます。エコーガイド下穿刺導入により穿刺トラブルは減少しています。

また、今後はエコーガイド下穿刺ができるスタッフの増加を目標に教育を進めています。教育は、「超音波機器の使い方」、「模擬血管によるトレーニング」を経て「臨床での実践」となります。臨床ではエコーガイド下穿刺を習得したスタッフがサポートにつき穿刺を行います。熟練するまで時間はかかりますがより確実な穿刺技術を得るため、多くのスタッフがエコーガイド下穿刺を習得できるように努めています。

ノーリフトについて

自立支援への取り組み ～健康な身体作りを目指して～

当施設(介護老人保健施設・通所リハビリテーション)は、在宅に帰る中間施設・リハビリテーション施設として設けられています。そのために、専門職によるリハビリはもちろん、入所・通所フロア共に、在宅での生活を想定した介護(生活リハビリの充実)、過介護の解消など、様々な取り組みを行ってきています。

※仁誠会通信13号を参照ください。

そんな中、『自立した生活をおくる』ためには、まず健康な身体作りが必要であることから、今回、国際医療福祉大学大学院 教授 竹内孝仁先生の理論の中で言られている「水」「食事」「排便」「運動」この4つの基本ケアに注目しました。



【自立支援学会 IN 東京】

竹内先生は、水分摂取量(1日: 1500ml以上を目指す)を増やして、しっかりと歩くことにより、隅々まで血液循環を良くし、意識が鮮明となり、食事中のムセや誤嚥が改善する。そして、食事が入る(栄養が入る)ようになり、更に運動と合わせていくことで、生理的な自然排便に繋がる。また、オムツでの排便ではなく、トイレでの排泄が可能になる。

このことが、人として健康な身体を作りだすことができる。更には、水分を十分に摂取することで、認知症の症状も改善するケースも多いと言われています。

更に、他施設での事例報告の中でも、『歩けない方が、歩けるようになる』、『寝たきりの方が、普通に生活をされている』、『認知症状がなくなった』など、多くの改善事例も見てきました。今回、学会に参加することで、水分の大切さ、また基本ケア(食事・排便・運動)の大切さを改めて実感させられました。

施設全体で、チーム・個人で、更なる知識・技術の向上に努め、ご利用者(ご家族)1人1人と向き合い、人間の根源的なニーズ=尊厳ある生活・自立的な生活を目指して、自立支援への取り組みを行っていきます。

「赤とんぼに来ると、元気になる」「出来ないことが、出来るようになった」と実感してもらえるように、そして、ノーリフトポリシーと合わせることで、いつまでも在宅で生活できる、環境・体制・身体作りを目指していきます。

仁誠会 介護部長 東 健一



取り組みの一部をご紹介

水分摂取の取り組み “美味しい・楽しく 水分摂取”

夏場の水分摂取のため「かき氷イベント」の実施。フロアにかき氷機を常設し、イチゴ、メロン、カルピス、抹茶から選んでもらい、トッピングには「あんこ」や「練乳」を準備し、日頃あまり水分を摂らないご利用者も「美味しい」「おわかり」と皆さん笑顔で大好評、水分摂取量もアップしています。



自然排便への取り組み

排便コントロールの1つとして、オリゴ糖の提供を開始しています。お茶やジュース、ゼリーに混ぜるだけでなく、甘みがあるので、コーヒーや紅茶にも混ぜて提供しています。※オリゴ糖は、善玉菌(ビフィズス菌)の餌になって増加することで、腸内環境を整えます。

具体的には、どのようなことを取り入れていくのか、ここで数点ご紹介したいと思います。

① スライディングボード、肘跳ね上げ式車いす、介助バー

これら3点はセットで使用します。腕の力はあるが足の力が弱くなられ、ベッドから車いすに乗り移られる際、介助が必要になられた方に、これらの福祉機器を使用しますと、介助者が抱え上げなくても、ボードの上でお尻を滑らせたり、数回に分けてボードの上に休みながら移動することで、患者様にも介助者にとっても体に優しい介護を行うことができます。さらに、介助を受けられる方が慣れてくれば、たとえ立てなくても、ベッドと車いすの間をお一人で乗り移りすることができるようになります。



② ローラースライドフレキシ、リクライニング車いす、機械浴ストレッチャー

この福祉機器は、①のケースよりももっと重い介護を受ける必要がある方に使用します。

今までの介護では、手も足も動かない患者様には2名もしくは3名介助で抱え上げながらリクライニング車椅子から機械浴のストレッチャーに乗り移りを介助していました。ローラースライドを使用すると、中の軸板の周りにあるシートがショベルカーのキャタピラのように利用者の動きに合わせ動くため、介助者は持ち上げることなく滑らすように移動を行うことができます。介助を受ける方も宙に浮く不安感がなくなるだけではなく、万が一のリスクも減らすことができます。介助者側も体にかかる負担を減らすことができます。



今後は、機器導入の推進と同時に職員の介助技術向上も図りながら、介護を受ける側にも行う側にも優しい介護を目指していきます。

仁誠会では、今年度よりこのノーリフトポリシーを聞かれたことはあるでしょうか？ノーリフトポリシーとは、簡単に言うと「持ち上げない介護」ということです。「持ち上げない介護」とは、介助を行う際、介助を受けられる方にとっても介護を行った側にとっても、優しい介護です。

仁誠会 全施設で

夏祭り

7月に仁誠会の全ての施設で夏祭りが行われました。それぞれ、趣向を凝らした出し物やお楽しみに利用者さん・患者さんが職員と一緒に盛り上がり、ボランティアさんの活躍も大きな力となっていました。



赤とんぼ黒髪
夏の暑い日には
これに限る!
つい手が伸びるかき氷。



仁誠会クリニック ながみね

ピアパーティで夏満喫!
カラオケも大盛り上がりでした。



仁誠会クリニック大津

もうすぐカラオケ大会が始まるう~。



赤とんぼ入所科4階
赤とんぼ玄関前のロビーで
花火大会。
打ち上げ花火の後は
線香花火も楽しみました。



仁誠会クリニック
光の森

お菓子や雑貨・野菜等など
ミラクル釣り堀が
大盛況でした。



赤とんぼ入所科3階
スイカ割りもねらい通り!
元気一杯、まだまだ若いもんには負けません。



赤とんぼ通所科
仲良くヨーヨー釣り。
ねらいを定めて釣り上げました。

祝 敬老の日

赤とんぼ入所・通所 合同



その後は、お楽しみの舞台。今年もキッズチアリーティングのかわいい女の子たちがたくさん踊りを披露してくださいました。フレッシュな元気をたくさん利用者さんに届けてくれました。それから、理事長と児玉先生の日舞と歌のコラボレーション。児玉先生のしつとりとした歌声が理事長の踊りをいつそう華やかにしてくださいました。最後は、田尻さえ子先生と新人職員とその教育担当職員によるよさこいソーラン節。利用者さんご家族にたくさんの笑顔の輪をつくりました。

赤とんぼ 写真館

今年は敬老の日にあわせ『赤とんぼ写真館』を2週間開館しました。『素敵なお思い出を大切な人と』をコンセプトに行いました。カメラマンとメイクアップをボランティアさんにお願いし、素敵なお写真がたくさん撮れました。



ボランティアさん紹介



和装文化協会
湯本 麗子さん

サポートボランティア 「着付けボランティア」

「夏祭り」の浴衣の着付け依頼に、「喜んで」とお返事をしたもののはほとんどの方が車椅子ご利用者とお聞きし、果たして、どの手順でお着付けしようか、また着ていただく方の負担にならないようにとは考えました。お一人おひとり向い合つて、皆さまの協力で、着ていただくことができました。持参した浴衣から派手なものを持った。「何年ぶりかで浴衣を着て、とても嬉しい」「若返りました。昔は着物を着ていたのよ」とお話しされました。またその浴衣がとてもお似合いでした。嬉しい「若返りました。昔は着物を着ていても、私も亡き母を思い出しました。」とおっしゃいました。

表彰後は、各フロアの代表利用者さんから8名の方へ向けてのお祝いの言葉をいたしました。人生の先輩としての生き方を称える言葉はとても感動的で、たくさん涙がみられました。

9月21日(月)通所、入所3階・4階

合同の敬老会を開催しました。たくさんのご家族、ボランティアさんにも参加していただき、大賑わいの1日となりました。

今年は各フロアの最高齢の男女の利用者さん8名を表彰させていただきました。赤とんぼの最高齢はなんと103歳。しっかりと感謝状を受け取られるお姿は、感慨深いものがありました。

表彰後は、各フロアの代表利用者さんから8名の方へ向けてのお祝いの言葉をいたしました。人生の先輩としての生き方を称える言葉はとても感動的で、たくさん涙がみられました。

有料老人ホーム
小規模多機能ホーム

赤とんぼ長嶺

平成28年
春期
オープン



顔なじみの看護師・介護士の専門スタッフが、
24時間365日、安心・安全の日常生活をサポートいたします。

近隣には、介護老人保健施設ケアセンター赤とんぼや、訪問介護事業所（ヘルパー）、居宅介護支援事業所（ケアマネジメント）、そして仁誠会クリニックながみねなどがあります。介護保険サービスを利用してその人らしい生活ができるように支援いたします。



お問い合わせ先／ケアセンター赤とんぼ内開設準備室 ☎096-331-3737

秋祭りだよ！全員集合！ ～enjoyします させます！ 地域と共に～

日時 10月25日(日) 9:30~15:00

会場 ケアセンター赤とんぼ

講演会／『認知症を知ろう』

講 師／宮内大介先生（くまもと悠心病院 院長）

13:00~14:00 参加費無料

舞台あり、屋台あり、
展示あり、体験コーナーあり。
是非、足を運んでくださいね。

医療法人社団仁誠会 相談窓口 （透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい）

■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本中央区黒髪6-29-37
TEL:096-345-6533 FAX:096-346-3388

■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973
TEL:096-232-9595 FAX:096-232-9888

■仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本中央区新屋敷1-14-2
TEL:096-211-5151 FAX:096-211-5057

■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-2211 FAX:096-360-4841

■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1
TEL:096-285-3466 FAX:096-285-3488

■通所リハビリテーション 赤とんぼ黒髪

〒860-0862 熊本中央区黒髪6-29-37
TEL:096-346-3535 FAX:096-346-3537

■有料老人ホーム 赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939 FAX:096-346-3538

■介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ

〒861-8043 熊本東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-3737 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 訪問介護事業所

TEL:096-331-8879 FAX:096-360-7103

■仁誠会クリニックながみね

訪問リハビリテーション事業所

〒861-8043 熊本東区戸島西2丁目3番10号
TEL:096-331-2211

●個人情報保護について ●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報を閲覧して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。

個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関する情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。

仁誠会窓口メールアドレス
jinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

仁誠会のホームページが
リニューアルしました！//

ホームページ [仁誠会](#) 検索